

第1回規制支援審議会
議事要旨

日時：平成26年2月25日（火）15時00分～16時40分

場所：原子力機構 東京事務所 第5会議室

出席者（敬称略、順不同）：

青木委員、有田委員、小田委員、田尾委員、平野委員、山田委員

オブザーバ：田中（文科省）、山田（規制庁）

（原子力機構）上塚、本間、佐藤、中山、助川、直井、渡邊、綿引、中村、鬼沢、前田、
和久

議事次第

1. 委員紹介、委員長互選
2. 原子力機構の概要
3. 対象組織の業務紹介
4. 本審議会の役割と位置付け
5. その他

配布資料リスト

規審1-0：議事次第（案）

規審1-1：規制支援審議会委員名簿

規審1-2：原子力機構の概要

規審1-3：規制支援に関わる業務について

規審1-4：規制支援審議会の位置付けと役割

規審参1-1：規制支援審議会の設置について（理事長達）

1. 委員紹介、委員長互選

各委員、オブザーバ等、出席者が自己紹介を行った。

委員長は互選により、田尾委員に決定した。

2. 原子力機構の概要

経営企画部前田から、原子力機構の概要が紹介された。

3. 対象組織の業務紹介

事務局からの原子力規制委員会の共同所管となった経緯等の説明に引き続き、対象となる安全

研究センター、原子力緊急時支援・研修センター、核不拡散・核セキュリティ総合支援センター、及び核物質管理科学技術推進部について、それぞれセンター長等から業務の概要が紹介された。

4. 本審議会の役割と位置付け

事務局から、規制支援審議会の役割と位置付けについて説明が行われた。

委員から、従来の安全研究審議会と変わったことは何かとの質問があり、原子力規制委員会の共管となったこと、安全研究だけでなく防災や核不拡散に関する業務も含まれることになったことが挙げられた。

また、今後の議論として、予算や人員の推移に加えて、中立性、透明性を確保するためのルールを示すことが重要であろうという意見に対し、規制庁から安全研究センターが受託して行っている研究について、機構内でどのように人材を確保していくかや、産業界との共同研究を行う際の中立性や透明性について、具体的なプロセスの在り方を議論していただくことを考えていると回答された。

これに対して、具体的なケースを挙げて議論してほしい、あるいは諸外国における問題や制度等を紹介していただくことが一つの方向性ではないかとの意見があった。

5. その他

本審議会における資料は、議事要旨とともに原則として公開する形をとる。

また、開催頻度として、最初は少し頻度を高くする可能性があるものの、最低年に1回開催することとする。

以上